



社会福祉法人 人を支える 生活を支える

佐賀整肢学園

SAGA SEISHI GAKUEN Since 1960

- 発行：令和2年9月
- 発行元：社会福祉法人 佐賀整肢学園
- 発行者：理事長 中尾清一郎
- 編集：法人広報誌編集委員

学園タイムス

2020-9 Vol. **27**

社会福祉法人 佐賀整肢学園

Sagaseishigakuen times

「サンセット」

からつ医療福祉センターから車で15分、国の特別名勝である「虹の松原」から連なる浜崎海岸でのショットです。浜崎海岸は遠浅の砂浜が美しく、遊泳区域とマリンスポーツの区画が分けられているため、夏は海水浴やジェットスキーなどが同時に楽しめます。仕事終わりの夕日だけでなく、インスタ映えスポットが満載！癒しを求めにぜひ唐津にお越しください！



- 巻頭言…2
- REPORT…3
- 事業所 TOPICS…4～5
- 決算報告…6
- 学園 FOCUS…7
- 局長随想 リレーコラム…8
- ボランティア・施設見学・実習状況 みどころ…8

法人事務局 〒849-0906 佐賀県佐賀市金立町大字金立2215-27 TEL0952-97-6611 FAX0952-97-6611	こども発達医療センター 〒849-0906 佐賀県佐賀市金立町大字金立2215-27 TEL0952-98-2211 FAX0952-98-3391	オークス 〒849-0906 佐賀県佐賀市金立町大字金立168-1 TEL0952-98-3770 FAX0952-98-3772	かんざき清流苑 〒842-0107 佐賀県神埼市神埼町鶴2927番地2 TEL0952-52-8890 FAX0952-52-9977
在宅サポートセンターかんざき清流苑 〒842-0107 佐賀県神埼市神埼町鶴2927番地2 TEL0952-52-8915 FAX0952-52-9977	からつ医療福祉センター 〒847-0001 佐賀県唐津市双水2806 TEL0955-70-3580 FAX0955-78-0683	からつ医療福祉センター-在宅事業部 〒847-0001 佐賀県唐津市双水2806 TEL0955-70-3580 FAX0955-78-0683	からつ医療福祉センター-好学会 〒847-0001 佐賀県唐津市双水2787-1 TEL0955-78-1123 FAX0955-78-3001
糸島子どもとおとなのクリニック 〒819-1301 福岡県糸島市志摩井田原63-1 TEL092-327-0073 FAX092-327-0361	かんざき日の隈寮 〒842-0107 佐賀県神埼市神埼町鶴2950-2 TEL0952-52-2229 FAX0952-52-7229	佐賀向陽園 〒849-0906 佐賀県佐賀市金立町大字金立801-1 TEL0952-98-1074 FAX0952-98-3145	居宅介護支援センターわいわい 〒849-0906 佐賀県佐賀市金立町大字金立799番地 TEL0952-71-8250 FAX0952-71-8252



創立 60 周年に思う

社会福祉法人佐賀整肢学園 法人事務局
副局長

森 英明

皆さん、当法人の各施設の名称に「佐賀整肢学園」がついているのはご存じでしょうか。私が入職した当時、職場の名称を聞かれ「佐賀整肢学園です。」と答えると、決まって「学校ですか?」と問い返されました。そうですね。知らない人にとっては、学園という名前では学校と思うのが当然でしょう。ネットで調べてみると「学園とは、学院同様、学校などとほぼ同様の意味を持つ名称、別称。」と書いてあります。

では「整肢」という文字ですが、そのまま「整肢」では出てこないのだから別々に調べると「整」は「正しくそろえる。ととのえる。ととのっている。」とあり、「肢」は「からだのわかれ。手足。」とあります。「手足をととのえる」ということでしょうか。

法人ホームページに、設立の時の理念として「県下の肢体不自由児に適切な環境と治療と義務教育を授け、更に将来独立自活に必要な訓練を施すことによって児童福祉の増進を期す」と記載されています。法人設立の理念が法人名称である「佐賀整肢学園」に表れていたのではないのでしょうか。

1960年(昭和35年)に開設された肢体不自由児施設佐賀整肢学園は、法的に必要な名称として、法人名、病院名、施設名を「社会福祉法人佐賀整肢学園」という名称を使ってきました。その後1981年(昭和56年)に重症心身障害児施設を新たに併設することになり、施設名がもう一つ必要になってきました。ここで、肢体不自由児施設は「佐賀第一療育センター」に変更になり、重症心身障害児は「佐賀第二療育センター」という名称がつけられました。

高木憲次先生が創られた「療育」という言葉の実践を、全国の肢体不自由児施設や重症心身障害児施設が行っており、佐賀整肢学園でも施設名に「療育」を入れることとなりました。

その後、1989年(平成元年)に肢体不自由児施設通園部門の開設をきっかけに、親しみやすい名称が検討され、肢体不自由児施設は「佐賀整肢学園・ひまわり園」重症心身障害児施設は「佐賀整肢学園・たんぼぼ園」に、肢体不自由児施設通園部は「佐賀整肢学園・ひよこ教室」に変更されました。

1997年(平成9年)4月に、身体障害者療護施設「佐賀整肢学園・オークス」が開設されました。このオークスという名称については、佐賀県の県木がクスの木であること、佐賀県内にある最も大きいクスの木である武雄市の「川古の大クス」にちなんで「オークス」という名称になりました。

1997年(平成9年)5月に病院名が「社会福祉法人佐賀整肢学園」から「佐賀整肢学園こども発達医療センター」に改名されました。全国的にも病院名称が変更される中、「社会福祉法人佐賀整肢学園」を使っているため病院と思っていただけないことが多々あり、新しい病院名称が必要となりました。そこで改名された名称が今も使われている「佐賀整肢学園こども発達医療センター」です。「佐賀整肢学園」という慣れ親しんだ名前を残し、将来的にも関わっていく対象の患者さんを「こども」と考え、そのこども達の発達を支援し医療を提供する施設にしていく、という思いだったと記憶しています。併せて、施設名も「佐賀整肢学園こども発達医療センター・ひまわり園」、「佐賀整肢学園こども発達医療センター・たんぼぼ園」、「佐賀整肢学園こども発達医療センター・ひよこ教室」に改名されました。

その後、1998年(平成10年)4月に特別養護老人ホーム「佐賀整肢学園・かんざき清流苑」が開設されました。この名称については、地元神埼市(当時は神埼町)の皆さんに慣れ親しんでいただくように「かんざき」という地名を入れ、清流城原川沿いということで、「清流苑」と命名されたことと記憶しています。

2002年(平成14年)4月に、唐津市に重症心身障害児施設「からつ医療福祉センターアルトン」、身体障害者療護施設「からつ医療福祉センター久里双水園」が開設されました。アルトンは中国語で「子供」の意味があり、久里双水園は久里双水古墳からとられたものです。

私が名称について知っているのはここまでですので、この後の施設については触れませんが、この後の施設も、関わった皆さんの思いがあって生まれた名前だと思います。

2020年(令和2年)の今年、佐賀整肢学園は創立60周年を迎えました。1960年(昭和35年)に施設定員30名でスタートした私たちの法人は、今では佐賀県内に6箇所、福岡県に1箇所、1000名近くの職員が働く大きな法人になりました。その理由は、私たちを必要としてくれる人たちがいて、その人たちに法人として真摯に伝えてきたからこそ、ここまで法人が大きくなったのではないのでしょうか。

「佐賀整肢学園」は、今までも、そしてこれからも、私たちを必要としている人達のために寄り添っていきたいと思います。

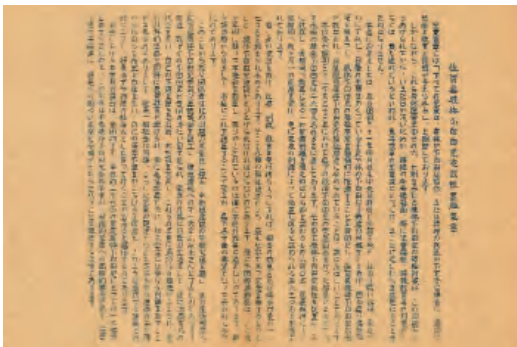
法人

60周年

佐賀整肢学園 設立 60 周年

社会福祉法人佐賀整肢学園は昭和35年（1960年）に設立され、2020年の8月をもって60周年を迎えました。現在の佐賀整肢学園の事業所は、4つの地区（佐賀市、神崎市、唐津市、福岡県糸島市）に亘り、会計拠点としては15拠点を展開しています。提供する医療・福祉サービスは幅広く、障害児者、高齢者、生活保護や措置児童まで、多様な社会福祉のニーズに応えるべく、約1,000人近い職員が働いています。

昭和26年に制定された児童憲章には、「すべての児童は、身体が不自由な場合、または精神の機能が不十分な場合に、適切な治療と教育と保護が与えられる。」と明記されています。この児童憲章を受け、佐賀県では昭和31年より中央及び全国と歩調を合わせ、「佐賀県肢体不自由児協会」が設立されました。協会が行った実態調査により、佐賀県下の肢体不自由児数について具体的な数字が発表され、医療・訓練・教育を受けられる福祉施設の設置が望まれるようになりました。折しも全国では同様の施設が相次いで設置され、時代の要請と社会のニーズを受けて、佐賀整肢学園が誕生することになります。この昭和34年当時の「佐賀県肢体不自由児施設設置趣意書」は、現在も法人本部に保管されています。



佐賀県肢体不自由児施設設置趣意書

「佐賀整肢学園」の名称は、昭和34年7月10日の打ち合わせにて決定し、母体となる「財団法人佐賀整肢学園」は同年8月19日に設立許可が下りました。施設用地は、鳥栖市、唐津市、嬉野町など12か所が視察された結果、最終的に佐賀市より金立町の2,913坪の譲渡を受け、「お年玉付き年賀はがき寄附金」の多額配分金2,000万円を原資として施設が建設されました。ここに「佐賀整肢学園」が産声を上げます。当時の佐賀新聞には、「廊下には特別に手すりがつけられ、浴場もすわたまま入れる特別づくり」と掲載され、現代では当然のものとして認識されているバリアフリーの内容が特別なものとして伝えられていることから、当時の佐賀県にとって、どれほど画期的で最先端の施設であったかを伺い知ることができます。



設立当時の佐賀整肢学園

その後、昭和35年8月1日付で、佐賀整肢学園は社会福祉法人に転換します。昭和36年には昭和天皇・皇后両陛下の行幸啓を賜り、昭和37年に高松宮殿下ご夫妻お成り、昭和51年に秩父宮妃殿下お成り、平成8年に秋篠宮御夫妻お成り、平成16年には皇太子殿下（今上天皇）の行啓を賜りました。また、平成2年に宮内庁より社会福祉事業の推奨の思召をもって金一封を賜り、これを記念し未永くこの趣旨を事業発展に生かすため「御下賜金記念基金」を設置しました。

事業としては、設立母体の肢体不自由児施設から、重症心身障害児施設、身体障害者療護施設（現障害者支援施設）に展開し、特別養護老人ホームの開設で介護保険事業にも参入しました。また、佐賀県から救護施設と養護老人ホームの民間移譲を受け、平成30年には児童心理治療施設を開設し、幅広い種類の医療・福祉サービスを提供しています。

これまで数多くの事業を展開し、設立から60年を迎えた佐賀整肢学園。法人理念にある「感性」「先進」「情熱」のもと、時代の要請と福祉ニーズ、そして何よりも地域社会と利用者、職員一人ひとりのために、これからも医療・福祉サービスの提供に、先進的かつ積極的に取り組んでいきたいと思えます。

沿革

昭和 35 年 4 月	肢体不自由児施設佐賀整肢学園設立
56 年 4 月	重症心身障害児施設佐賀第二療育センター設置認可
平成元年 4 月	肢体不自由児施設通園部ひよこ教室新設
9 年 4 月	身体障害者療護施設佐賀整肢学園オークス設置認可
10 年 1 月	重症心身障害児（者）通園事業運営開始
10 年 4 月	特別養護老人ホーム佐賀整肢学園かんざき清流苑設置認可
14 年 4 月	重症心身障害児施設からつ医療福祉センターアルトン設置認可 身体障害者療護施設からつ医療福祉センター久里双水園設置認可 知的障害児通園施設からつ医療福祉センターまつぼっくり教室設置認可
15 年 12 月	認知症対応型共同生活介護事業佐賀整肢学園かんざき清流苑運営開始
20 年 4 月	救護施設佐賀整肢学園かんざき日の限寮運営開始
21 年 4 月	養護老人ホーム佐賀整肢学園佐賀向陽園運営開始 福祉ホームくるみの家運営開始
22 年 4 月	就労継続支援 B 型事業くるみランドリー運営開始
23 年 7 月	居宅介護支援センターわいわい運営開始
10 月	福祉ホームきらり運営開始
24 年 4 月	医療型障害児入所施設運営開始（こども） 療養介護事業所運営開始 児童発達支援センター運営開始 児童発達支援事業運営開始 生活介護事業運営開始 特定・障害児相談支援事業運営開始 放課後等デイサービス事業運営開始 保育所等訪問支援事業運営開始 日中一時支援事業運営開始 指定訪問リハビリテーション事業運営開始 救護施設かんざき日の限寮移転改築 併設型短期入所事業運営開始 サービス付き高齢者向け住宅事業在宅サポートセンターかんざき清流苑運営開始
26 年 7 月	就労継続支援 B 型事業ビーンズ運営開始
8 月	日中一時支援事業運営開始
27 年 4 月	在宅サポートセンター・オークス運営開始 就労移行支援事業リンク運営開始 放課後等デイサービス事業ピクニック運営開始 認知症対応型通所介護事業居宅介護支援センターわいわい運営開始
28 年 2 月	医療型障害児入所施設運営開始（からつ）
29 年 1 月	糸島こどもとおとなのクリニック運営開始
30 年 4 月	児童心理治療施設からつ医療福祉センター好学舎運営開始 共同生活援助事業グループホームあつたか運営開始
31 年 4 月	糸島こどもとおとなのクリニック在宅サポートセンターかやふる運営開始



在宅サポートかんざき清流苑では、年間を通して週1回程度、介護予防教室「しゃんしゃん教室」を実施しています。令和2年度も引き続き神崎市からの委託を受け、高齢者の介護予防活動を支援し、可能な限り地域において自立した日常生活が送れるよう、在宅高齢者の保健福祉向上を目的としています。参加対象は神崎市のおおむね65歳以上の高齢者で、神崎市のチェックリストで事業の対象となった方です。

教室の内容は、運動器の機能向上プログラムとして、理学療法士によるストレッチやゴムバンドを使用した筋力アップ体操など自宅でも継続して行える内容となっています。また、昔懐かしい歌謡曲などに合わせて身体を動かすリズムダンスもっており、参加者の方は、懐かしい音楽を口ずさみながら身体を動かされ楽しんでいます。その他、認知症予防、脳活トレーニングとして、クロスワードや難読漢字、間違い探し等も行っています。参加者の方はみなさん運動も脳トレも真剣に楽しみながら取り組まれているようです。また、教室に参加することで新たな交友関係ができたり、久しぶりの再会があったりと人との関わりが多く持てることも、楽しみのひとつのようです。

コロナウイルス感染拡大の影響を受け3月から自粛しておりましたが、マスクの着用、検温の実施、活動時や送迎時は三密にならないよう配慮し、6月8日より再開しました。今後も、地域の高齢者の皆さんが元気に日常生活を送れるよう、また地域福祉の向上に貢献できるよう続けていければと思います。

(在宅サービス課 生活相談員 江里口 徳彦)



介護機器等導入について

オークス

近年多様化する介護ニーズに対応していくため、サービスを担う介護人材の確保や定着が課題となっています。そこで介護機器を活用することで介護職員の身体的負担の軽減を図り、人材の確保や定着できるよう介護機器等の導入を行っています。

平成26年に走行用リフターを2台導入。本年からは「かかえない介護」を推進するため、2月にスライディングボード4枚、スライディングシート4枚を購入。3月には、佐賀県介護ロボット導入支援事業の補助金を活用し、走行用リフターを3台導入し、また、手動用スタンディングマシーンも1台導入しました。リフター導入と同時に施設内の半数が手動昇降用ベッドであったため、電動ベッドを5台導入しました。



その上で、介護機器の研修会を開き機器操作性の向上に努め、利用者の方への安心・安全な移乗介助の実施を心がけています。今後は、走行用リフターや電動ベッドの増台に加え、移乗サポートロボット、ベッド内蔵センサー、天井走行リフターの導入を計画しております。さらなる設備の充実が必要であり、職員の業務負担軽減と、利用者の皆さんの安心・安全な生活を追求していきます。

(入所サービス課 生活相談員 吉原 祥太郎)

夏の衣類購入 at ユニクロ

7月

かんざき日の限寮



日の限寮では、買物支援の一つとして夏と冬の年2回衣類購入を行っています。今年はコロナ禍でユニクロ鍋島店にて営業前の1時間程を貸切りで対応していただくことになり、希望を募ったところ今回は男性利用者の方15名程が参加されました。

感染症対策として密にならないよう配慮しながら、利用者の皆さんは、限られた時間の中でも貸切りという安心した環境の中で、それぞれ思い思いの服を選ばれ、大変喜ばれている様子でした。

まだまだコロナ感染症の影響で外出や行事の企画等には様々な工夫や配慮を要しますが、状況に合わせた最善の方法や対策を検討しながら利用者の方々の希望に寄り添い、臨機応変に対応していきたいと思っております。

(入所サービス課 生活支援員 向野 亜里紗)



事業所 TOPICS

(5月～7月)

七夕会

7月

こども発達医療センター



7月7日と8日に七夕会が行われました。毎年七夕会の日に笹の飾り付けを行っていましたが、今年は大雨の影響で笹の調達が遅れ、七夕会を2日間に分けて行う事となりました。当日はあいにくの雨でしたが、紙芝居や七夕の歌、おやつケーキを楽しみました。紙芝居で定番の織姫と彦星のお話を聞いた後は七夕の歌です。利用者の皆さんが雨雲を突き抜けるような大きな声で一生懸命歌われました。おやつケーキは皆さん一番楽しみにされていたようで、「美味しい」「もう1個食べたい」といった声と共に、あちこちで太陽のような笑顔が見られました。

次の日はようやく笹が届き、短冊や笹飾りを一つずつ願いを込めて飾りました。「嵐の相葉さんに会いたい」「〇〇さんと結婚したい」等、個性あふれる願い事もある中で、一番多く見られたのが、「お父さんに会いたい」「お母さんと買い物に行きたい」等、家族に関する願い事でした。コロナ禍で面会や外出に制限がある中で、利用者の皆さんもたくさん我慢されていることが感じられ、こんな時だからこそ、今後も利用者の方一人ひとりが楽しい時間を過ごす事が出来るような行事や療育を一つずつ丁寧に企画していけたらと思いました。

(西棟療育課 児童指導員 吉岡 健太)



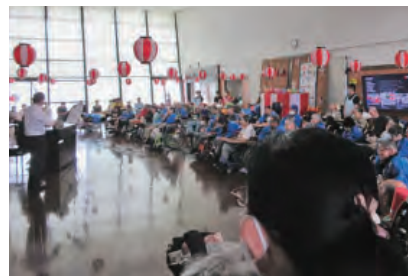
夏祭り

7月

からつ医療福祉センター

利用者の皆さんが毎年楽しみにされている、からつ医療福祉センター全体での夏祭りですが、今年は新型コロナウイルス感染防止対策により、各部署での開催となりました。

18日に行われた初となる、久里双水園単独での夏祭りでは、天井には提灯、周囲はお面や風船・うちわで屋台風、職員は浴衣や甚平でグッと雰囲気を出し、ご家族の皆さんの見守るなか、食堂の中央に設置された檜を囲むように円陣を組みました。利用者さんの叩く太鼓の音と、炭坑節に合わせた盆踊りからスタート。気分も一気に高揚したところで、田中副課長・井崎主任による「情熱大陸」と「夏祭り」をバイオリン・ピアノで演奏していただき、大いに盛り上がりました。めったに聴けない生のバイオリン演奏には、その場にいた誰もが心奪われてしまいました。そして、お待ちかねの抽選会では、首掛け扇風機やひんやりひざ掛け、花火等の夏らしさをテーマにした景品で、名前を呼ばれると「わあっ！」と歓声が上がっていました。最後は、利用者・ご家族の皆さん、職員全員で炭坑節を踊り、夏祭りの締めくくりとなりました。



今後も久里双水園では、感染防止対策をしつつ、季節を感じ、楽しんでいただけるよう努めていきたいと思えます。

(久里双水園 入所サービス課 生活支援員 坂本 美沙樹)

リモート誕生会・懇談会

7月

佐賀向陽園・わいわい



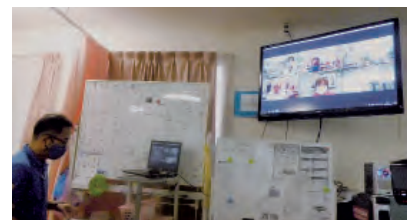
7月28日に佐賀向陽園・わいわいの誕生日会・懇談会を開催しました。

これまでは、建物が別の向陽園とわいわいの利用者の皆さんが、向陽園の食堂に集まって、合同で開催していましたが、今年新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、向陽園とわいわいをオンラインで結び、初めてのリモート誕生会・懇談会を実施しました。直接会うことはできませんが、「あー、わいわいにおるとね～」と会話を楽しみながら画面

越しにお互いの元気な姿を確認でき、皆さん大変喜ばれていました。状況が変化した中でも、工夫をすることで誕生会・懇談会が実施でき、利用者の皆さんがとても楽しんでいる様子を見て、職員も嬉しく思いました。一日も早く新型コロナウイルスが収束し、また全員が集まってお祝いすることができることを願っております。

7月誕生者の利用者の皆さん、本当におめでとうございました。

(在宅サービス課 デイサービス係 片渕 瑞紀)



決算報告

法人全体の令和元年度決算は次のとおりであり、6月24日の定時評議員会で承認されました。
(社会福祉事業：13拠点 公益事業：2拠点)

資金収支計算書

単位：千円

勘定科目	予算	決算	差異
事業活動による収支			
収入			
介護保険事業収入	606,946	594,023	△12,923
老人福祉事業収入	199,716	201,226	△1,510
児童福祉事業収入	217,747	221,307	△3,560
保育事業収入	3,516	3,706	△190
就労支援事業収入	9,200	4,051	5,149
障害福祉サービス等事業収入	2,020,446	2,014,233	6,213
生活保護事業収入	251,926	252,023	△97
医療事業収入	3,002,397	2,949,311	53,086
私的契約事業収入	11,442	13,489	△2,047
経常経費寄附金収入	9,511	9,437	74
受取利息配当金収入	13,948	13,962	△14
その他の収入	11,621	11,765	△144
事業活動収入計(1)	6,358,416	6,288,532	69,884
支出			
人件費支出	4,357,377	4,250,287	107,090
事業費支出	784,365	748,931	35,434
事務費支出	598,697	465,461	133,236
就労支援事業支出	9,200	8,593	607
利用者負担軽減額	1,890	1,775	115
その他の支出	50	0	50
流動資産評価損等による資金減少額	94	0	94
事業活動支出計(2)	5,751,673	5,475,047	276,626
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	606,743	813,485	△206,742
収入			
施設整備等補助金収入	3,997	3,846	151
その他の施設整備等による収入	0	47	△47
施設整備等収入計(4)	3,997	3,893	104
支出			
設備資金借入金元金償還支出	2,760	2,760	0
固定資産取得支出	185,073	154,035	31,038
ファイナンス・リース債務の返済支出	624	622	2
施設整備等支出計(5)	188,457	157,417	31,040
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△184,460	△153,524	△30,936
長期貸付金回収収入	1,474	2,374	△900
収入			
積立資産取崩収入	209,987	146,163	63,824
その他の活動による収入	12,153	12,152	1
その他の活動収入計(7)	223,614	160,689	62,925
支出			
長期貸付金支出	1,490	810	680
積立資産支出	711,727	711,298	429
その他の活動支出計(8)	713,217	712,108	1,109
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△489,603	△551,419	61,816
予備費(10)	5,850	—	5,856
徴収不能引当金(11)	△294	—	△294
当期資金収支差額合計(1)=(3)+(6)+(9)-(10)	△72,876	108,542	△181,418
前期末支払資金残高(12)	1,880,407	1,880,402	5
当期末支払資金残高(11)+(12)	1,807,531	1,988,944	△181,413

事業活動計算書

単位：千円

勘定科目	当年度決算	前年度決算	増減
サービス活動増減の部			
収入			
介護保険事業収益	594,023	609,802	△15,779
老人福祉事業収益	201,226	203,488	△2,262
児童福祉事業収益	221,307	229,187	△7,880
保育事業収益	3,706	0	3,706
就労支援事業収益	4,051	3,989	62
障害福祉サービス等事業収益	2,014,233	1,938,372	75,861
生活保護事業収益	252,023	252,833	△810
医療事業収益	2,949,311	2,928,911	20,400
私的契約事業収益	13,489	10,205	3,284
経常経費寄附金収益	9,437	18,405	△8,968
サービス活動収益計(1)	6,262,806	6,195,193	67,613
費用			
人件費	4,248,511	4,201,289	47,222
事業費	748,016	760,556	△12,540
事務費	465,461	491,988	△26,527
就労支援事業費用	8,593	9,904	△1,311
利用者負担軽減額	1,775	1,728	47
減価償却費	533,823	506,353	27,471
国庫補助金等特別積立金取崩額	△156,268	△163,991	7,723
徴収不能引当金繰入	151	0	151
サービス活動費用計(2)	5,850,061	5,807,826	42,235
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	412,745	387,366	25,379
収入			
受取利息配当金収益	13,962	17,215	△3,253
その他のサービス活動外収益	23,917	10,831	13,085
サービス活動外収益計(4)	37,879	28,046	9,833
費用			
その他のサービス活動外費用	16,680	4,242	12,438
サービス活動外費用計(5)	16,680	4,242	12,438
サービス活動増減差額(6)=(4)-(5)	21,198	23,804	△2,606
経常増減差額(7)=(3)+(6)	433,943	411,170	22,773
特別増減の部			
収入			
施設整備等補助金収益	3,846	75,217	△71,372
特別収益計(8)	3,846	75,217	△71,372
費用			
固定資産売却損・処分損	31	5,418	△5,387
国庫補助金等特別積立金積立額	3,846	75,217	△71,372
特別費用計(9)	3,876	80,635	△76,758
特別増減差額(10)=(8)-(9)	△31	△5,418	5,387
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	433,912	405,753	28,160
繰越活動増減差額(12)	8,496,301	8,191,628	304,674
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	8,930,214	8,597,380	332,833
基本金取崩額(14)	0	0	0
その他の積立金取崩額(15)	145,000	599,869	△454,869
その他の積立金積立額(16)	703,352	700,948	2,404
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	8,371,861	8,496,301	△124,440

貸借対照表

社会福祉事業：13拠点 公益事業：2拠点

単位：千円

資産の部	当年度末	前年度末	増減
流動資産(1)	2,233,571	2,473,338	△239,767
現金預金	1,274,216	1,503,292	△229,076
有価証券	0	0	0
事業未収金	926,863	904,994	21,869
未収金	0	0	0
未収補助金	14,481	39,767	△25,286
医薬品(2)	4,030	3,115	915
立替金	2,197	201	1,996
前払金	1,466	1,648	△182
前払費用	7,503	8,599	△1,095
(ワンyearルール流動資産の合計)(3)	1,474	1,474	0
1年以内回収予定長期貸付金	1,474	1,474	0
仮払金	1,491	10,249	△8,758
徴収不能引当金(4)	△151	0	△151
固定資産	14,384,812	14,198,639	186,172
基本財産	8,169,781	8,414,684	△244,903
土地	1,774,367	1,771,715	2,652
建物	6,395,413	6,642,968	△247,555
その他の固定資産	6,215,031	5,783,956	431,076
土地	513,611	476,263	37,348
建物	149,121	209,865	△60,744
構築物	506,237	532,052	△25,814
車輛運搬具	46,746	59,813	△13,067
器具及び備品	245,886	284,001	△38,115
建設仮勘定	0	30,800	△30,800
有形リース資産	622	1,244	△622
権利	4,199	4,561	△362
預託金	3,887	3,830	58
ソフトウェア	4,310	7,107	△2,797
長期貸付金	9,896	28,140	△18,244
役員退職慰労引当資産	2,260	0	2,260
退職給付引当資産	22,841	18,318	4,523
(積立預金の合計)	4,684,001	4,125,648	558,352
運営資金積立資産	573,371	461,871	111,499
土地購入積立資産	380,000	380,000	0
建設準備積立資産	467,000	368,000	99,000
人件費積立資産	53,000	54,000	△1,000
修繕積立資産	463,500	442,000	21,500
備品等購入積立資産	273,818	239,277	34,541
減価償却積立資産	2,364,500	2,078,500	286,000
リスク対策積立資産	42,459	36,000	6,459
移行時特別積立資産	11,000	11,000	0
御下賜金記念基金積立資産	55,000	55,000	0
その他の積立資産	353	0	353
差入保証金	48	95	△47
長期前払費用(5)	21,336	2,189	19,148
その他の固定資産	30	30	0
資産の部合計	16,618,383	16,671,978	△53,595

負債の部	当年度末	前年度末	増減
流動負債(6)	496,430	834,916	△338,485
事業未払金	228,705	528,419	△299,714
(ワンyearルール流動負債の合計)(7)	3,382	3,382	0
1年以内返済予定設備資金借入金	2,760	2,760	0
1年以内返済予定リース債務	622	622	0
預り金	2,035	1,859	176
職員預り金	28,854	58,965	△30,111
前受金	3	273	△270
前受収益	990	990	0
仮受金	22	29	△7
賞与引当金(8)	232,439	240,998	△8,559
※当期末支払資金残高(1)-(2)-(3)-(4)+(5)-(6)+(7)+(8)	1,988,944	—	1,988,944
固定負債	56,151	52,750	3,401
設備資金借入金	31,050	33,810	△2,760
リース債務	0	622	△622
役員退職慰労引当金	2,260	0	2,260
退職給付引当金	22,841	18,318	4,523
負債の部合計	552,581	887,666	△335,085
純資産の部			
基本金	29,492	29,492	0
基本金	29,492	29,492	0
国庫補助金等特別積立金	2,980,448	3,132,870	△152,423
国庫補助金等特別積立金	2,980,448	3,132,870	△152,423
その他の積立金	4,684,001	4,125,648	558,352
運営資金積立金	573,371	461,871	111,499
土地購入積立金	380,000	380,000	0
建設準備積立金	467,000	368,000	99,000
人件費積立金	53,000	54,000	△1,000
修繕積立金	463,500	442,000	21,500
備品等購入積立金	273,818	239,277	34,541
減価償却費積立金	2,364,500	2,078,500	286,000
リスク対策積立金	42,459	36,000	6,459
移行時特別積立金	11,000	11,000	0
御下賜金記念基金積立金	55,000	55,000	0
その他の積立金	353	0	353
次期繰越活動増減差額	8,371,861	8,496,301	△124,440
次期繰越活動増減差額	8,371,861	8,496,301	△124,440
(うち当期活動増減差額)	433,912	405,753	28,160
純資産の部合計	16,065,801	15,784,312	281,490
負債及び純資産の部合計	16,618,383	16,671,978	△53,595

- 減価償却費の累計額 6,405,934,568 円
- 徴収不能引当金の額 150,726 円

学園 FOCUS



佐賀整肢学園で活躍する様々な人に焦点を当てる「学園 FOCUS」。

今回は、糸島こどもとおとなのクリニック 言語聴覚士の林田弦也さんに、趣味のスノーボードについて語ってもらいました。

Q 失礼ながら、スノーボードというイメージがないのですが… (笑)スノーボードを始めたきっかけは何ですか？

A 大学の時に友人に勧められ始めました。勉強やアルバイト漬けの毎日でしたが、そこでのストレスが思いっきり解放され、最高の気分転換となっていました。今では、冬の最大の楽しみとなっています。

Q スノーボード人口はとても多いと思いますが、魅力はどんなところにありますか？

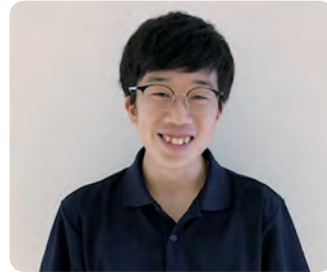
A リフトで上まで登り、きれいな雪景色を見た時の解放感とそこから滑る爽快感です。初めは転んでばかりでしたが、徐々にスピードにのって滑ることができ、達成感も感じることができます。また、友人とワイワイ楽しみながら滑るのも魅力の一つです。動画を撮り合い、いかに滑るかに挑戦しています (笑)

ボードなどの道具は、スキー場の近くでレンタルすることが出来るので、手ぶらで行き楽しむことが出来るのもいいですね。小さなお子さんがある方でもソリを持参して滑ることができるので、ご家族みんなで楽しむことができますと思います。



Q 佐賀のスキー場には天山がありますが、これまでどんなところに滑りに行きましたか？

A 九州では、大分の九重森林公園スキー場や宮崎の互ヶ瀬ハイランドスキー場に行きました。最近では広島のアサヒ国際スキー場に行きました。アサヒ国際はとても広くて、思いっきり楽しむことができます。初級から上級までコースの内容も充実していて、曲がりくねりや急勾配



はやしだ げんや
林田 弦也 さん

糸島こどもとおとなのクリニック
言語聴覚士

など変化に富んだ滑走を楽しむことができます。私はまだ中級ですが… (汗)

Q スノーボードをしていてよかったことを教えてください

A スノボを始めたことで行動力が上がったことです。私は今までこれといった趣味がなく、休日は家でゴロゴロするか都合が合えば友人と食事に行く程度の時間を過ごしていました。しかし、スノボを始めてからは、冬のスノボはもちろんのこと、スノボシーズンが終わっても、来シーズンの体力作りのために、バドミントンをしたり、また、スノボで行った地方に旅行に行ったりとアクティブに活動するようになりました。

Q 冬シーズンだけではなくオールシーズンで活動されるようになったんですね。最後に一言お願いします。

A 仕事以外の楽しみを持つことが、健康にはとても大切だと最近思うようになりました。

スノーボードは、運動が苦手な方でも楽しめるスポーツです。スキー場の近くには温泉も多いので、冬の旅行としても楽しめると思います。季節は限られてしましますが、機会があればぜひ体験されてみてください。



NEXT…かんざき清流苑のあの人に FOCUS!!

局長随想

昭和 35 年追憶

社会福祉法人佐賀整肢学園は、昭和35年（西暦1960年）に設立認可され、今年で創立60周年を迎えたが、設立当時の時代状況はどうであったか振り返ってみた。

この年には、2月に今上天皇陛下がお生まれになり、8月に開催されたローマオリンピックでは、体操で小野喬選手が金メダル3個の活躍をした。カラーテレビの本放送が始まり、クレジットカードやインスタント食品が誕生したのもこの年である。一方、流行語では、若い女性が希望する結婚相手の条件として言った言葉「家付き、カー付き、ババア抜き」や、ばかげた行動や考えをあらわす「ナンセンス」が流行っていたようだが、特に注目した流行語は「私は嘘は申しません」である。この言葉は、昭和35年（1960年）11月に実施された総選挙のおり自民党がテレビCMで流したものであるが、当時の総理大臣が「所得倍増政策」を唱えて、1960年7月から1964年11月まで在任した池田勇人総理である。また、「経済のことは池田にお任せください」とまで言い切って、日本の高度経済成長と国政的地位の向上を果たした政治家が池田勇人総理であった。いま、国内は安倍首相の突然の退陣を受け、自民党の新総裁選びがたけなわで、いろんな公約が飛び交っている。どうか新総理には是非国民のため、1960年当時の政治家の覚悟と自信を持って、ことに当たっていただきたいと思う今日この頃である。
(法人事務局長 寺崎 敏光)

Relay Column



こども発達医療センター
総合相談室

はやしだ さつき
林田 五月

「3つの〇〇」と聞くと、皆さんはどんな言葉を思い浮かべますか？
私がパッと思いつくのは、人生の「3つの坂」です。人生には上り坂・下り坂・まさかがあるということ。これは相談支援の研修で知った言葉です。好調で何をやってもうまくいくときもあれば、不調に陥って思い通りにならないときもあります。そして、全く予期していなかったことが起こる“まさか”もあります。利用者の生活歴や人生を考えたとき、その方にとっての「3つの坂」を考えなさいという内容でした。

この“まさか”が昨年から身近なところで起こっています。相次ぐ豪雨災害や新型コロナウイルスの流行は多くの方が経験している“まさか”でしょう。このような状況が続くと、不安やストレスも増大しますが、生活の中にささやかな楽しみを見つけることで上手くコントロールしたいものです。ちなみに、私の目下の楽しみは漫画「キングダム」です。

今後は「3つの〇〇」の中に、密閉・密集・密接の「3つの密」という言葉と、感染予防の「3つの基本」、手洗い・マスク・ディスタンスを新たに加えつつ、私は漫画を読みたいと思います。

NEXT…オークスのあの人にバトンタッチ!!

令和 2 年 5 月～令和 2 年 7 月

協力ボランティア

- 【こども】 整肢学園友の会様 親和会様
- 【日の隈】 藤間静浄様（日舞クラブ） 高口美奈子様（フラワーアレンジメントクラブ）
- 【向・わ】 佐賀少年刑務所様

施設見学来訪

- 【からつ・好・好】 (か) 唐津看護専門学校 5 名様 医療福祉センター聖ヨゼフ園 3 名様 成和小学校 2 名様 呼子小学校 2 名様 なごや保育園 2 名様 唐津保健福祉事務所 2 名様 (好) 医療福祉センター聖ヨゼフ園 3 名様

実習生受入

- 【清流苑】 九州医療専門学校 1 名
- 【からつ・好・好】 (か) 小島病院 1 名 西九州大学社会リハビリテーション学科 3 名 神戸学院大学作業療法学科 1 名 九州龍谷短期大学保育学科 2 名

見どころ

前回に引き続き、コロナウイルスの影響で各施設の行事も例年通りとはいかない毎日です。そんな中でも、職員の皆さんが工夫を凝らし、日々の活動の様子が伝わる内容になっているのではないのでしょうか。学園タイムス編集会議も「密」を避け、今流行りのリモートでの会議となっています。我慢の日々が続きますが、早く日常生活を取り戻せるよう願うばかりです。

